

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－防衛庁、
防衛施設庁－(3)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 防衛庁, 沖縄調査団, 試射場 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43393

山上防犯施設が長官、訪沖

秘
無期限

アメリカ局長
参事
安全保障課長
北米第一課長

防衛施設庁長官の訪沖に因り
琉球新報の報道につき

45.5.21
米北

山上防衛施設庁長官が6月中旬沖縄
を訪問する旨の5月19日付琉球新報

記事(右取組)に於て、21日同庁
長官の返答に林補佐の照会に於て

下記のとおり、同記事は概ねの如
きなり、予そ不明なる由の如し

山長官の

記

GA-5

外務省
1063

1. 山上長官の訪沖計画は現在のところ
何れも之に依り。嘗て3月頃、長官

は訪沖に現地事情を直接把握し
たいとの意思を示し、2日間の

日程の計画を提出し、長官は之が
国会等の関係もあり、取りやめを経済

的あり。結局の所は今の様に済
むことなる。

2. (中略防衛施設庁長官の訪沖につき、米北
記事の論に依りては、(由り)

中略長官の訪沖計画は、(由り)に
依り、(防衛)を中心として(防衛)

32人の人と有る由、これ、長官の意向の
部員及び防衛施設庁のスタッフを加え、自

GA 6

外務省

衛隊機、この沖つと計画がある
と計画している。二ヶ月復帰後、自

衛隊の沖縄への展開計画を案出した
のが主目的で、防衛施設庁に之が

時期を早めることと、消極的であり、考
察部に参加したい（建設部は1名参

加したい）方針がある。

防衛施設庁長官も来月訪沖 雇用形態などで懇談

【東京】防衛施設庁長官は、このほど来月中旬にも沖縄を訪問することを明らかにした。また中曽根防衛庁長官も国会終了後の訪米途中、訪沖を三回以上はしていることから、あけ前後に防衛関係のトップ・クラスが沖縄を訪れることになるであろう。

防衛施設庁では、沖縄の海軍施設復元の重地、雇用関係などの事務を一手に引き受けることになる方針を定めての備をすすめている。この四月には本土政府としてはじめての沖縄現地調査団を立ち上げ、その報告もほとんどまとまった。そのため、山土長官としては、渡洋後の沖縄防衛施設復元の要請、土地契約、雇用形態の切り替え、基地の整理統合などに備えて、現地関係者と懇談するため訪沖を決めた。

なお、沖縄基地調査の報告は、今月末に発表される。

48.5.19 (1) 琉球新報 (1面)

三
月
九
日